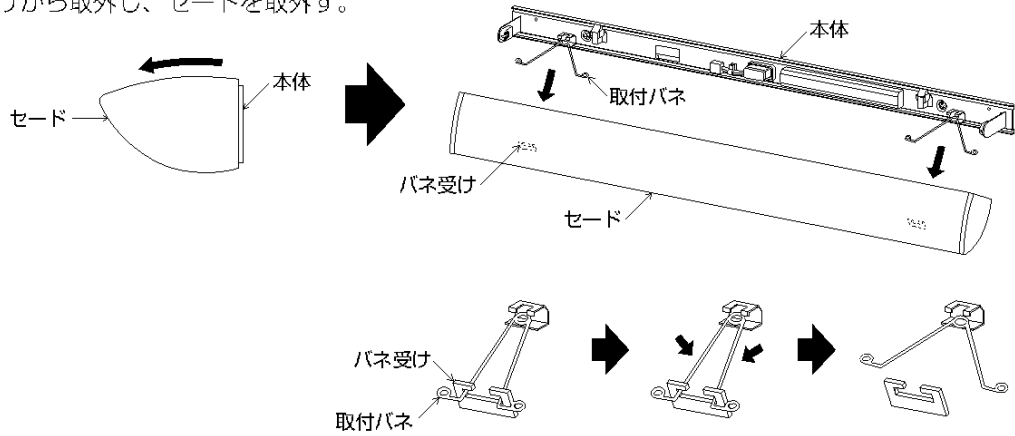


■セードの取外し方 △注意 セードの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

1 電源を切る

2 セード・ランプを取外す

セードを引き下げ、着脱ツメ側を外す。
セードの端を持ちながら片側ずつ引き抜き、本体に
仮吊りされている状態にする。
ランプを取外す。
取付バネをバネ受けから取外し、セードを取外す。



△注意 取付バネを強く弾かないでください。
破損・けがの原因になります。

3 ランプ・セードを取付ける

■施工手順 3・4・5 を参考にランプ、セードを取付
ける。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- ・蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤
を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と 合わせて大切に保管してください。
<保証について> 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに付いた使用決定で保証期間内に 故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯・LED器具・HID器具 の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯台・電池などの消耗品は、免責外といたし ます。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の 期間とします。 5. 保証期間中でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 a 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 b お買い上げ後の取り付け場所の移動、搬送などによる故障及び損傷 c 火災、地震、水害、落雷、その他天災地災、異常暴風、指針外の 使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 d 日射、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 e 落下上の不備に起因する故障や不具合 f 法令、取扱説明書で要求される保守・点検を行わないことによる故障及び 損傷 g 保証工及び部品の交換又は販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は申請行いませんので大切に保管してください。		<アフターサービスについて> 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの 販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談 ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理 させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は 弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の修理・部品を製造・打ち切り後最長8年間保有して います。一部部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。 補修・性能向上には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして上記に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は免責外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものでは ありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びに ご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または弊社保証書の コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お 客 様	お名前	
	ご住所	
電話 ()		

コイズミ照明株式会社

※生紙を使用しています。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工 取扱説明書

型 番 AB35811F・AB35812F

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にこな してください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下 によるけがの原因になります。	禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しな いください。 →火災の原因になります。
禁止	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井・壁取付両用器具です。傾斜天井 に取付ける場合は90°までにしてください。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、 使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		下図のような場所や配線器具の場合、取付けで きません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換 には資格が必要です。工事店・電器店に依頼し てください。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し ないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	●破損している ●電源端子露出形
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込ま ないでください。 →感電・故障の原因になります。		異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってく ださい。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因に なります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなど の高温のものを置かない でください。また、燃え やすいものを近づけて使 用しないでください。 →火災の原因になります。
禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	！ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

取説No. B111-130 HR/S・T-02

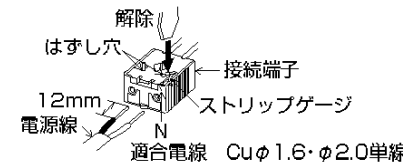
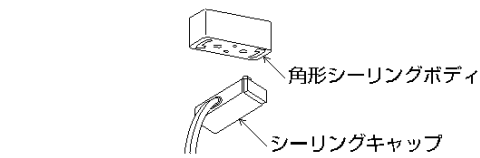
2 電源を接続する

＜角形シーリングボディで電源を接続する場合＞
シーリングキャップを接続する。

＜電源線で電源を接続する場合＞

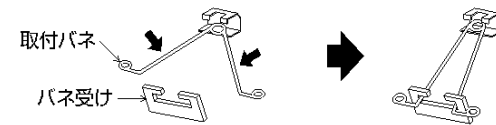
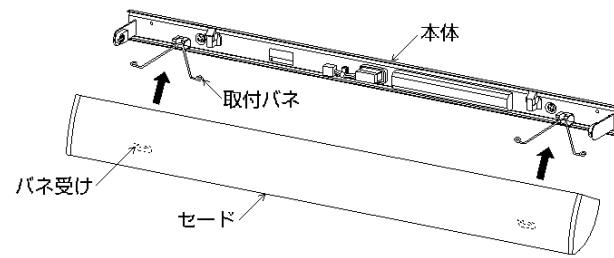
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライ
バーを差し込み、電源線を抜く。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



3 セードを仮吊りする

取付パネをパネ受けに引っ掛け、セードを本体に
仮吊りされている状態にする。

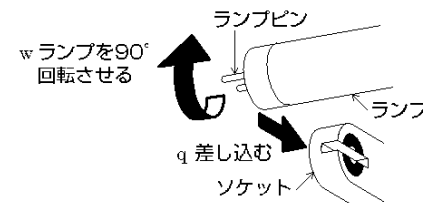


⚠ 注意 取付パネを強く弾かないでください。
破損・けがの原因になります。

4 ランプを取付ける

ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転
させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの
原因になります。

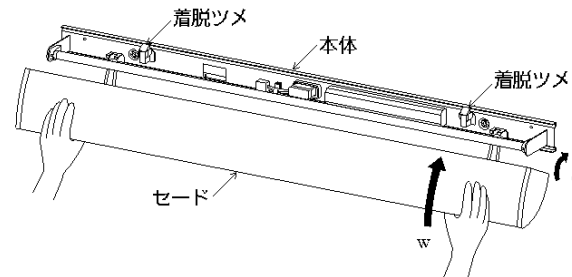
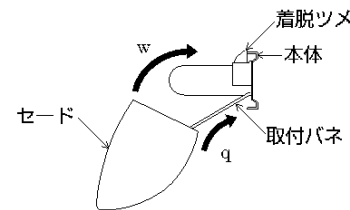


5 セードを取付ける

q 取付パネ側を押し付ける。

w 着脱ツメ部分を"カチッ"と音がするまで押し付け
る。セードが取付けにくい場合は、セードを内側
へ押さえながら取付けてください。

※取付け後セードを軽く引っ張って取付けの確認を
行ってください。



6 点灯の確認を行なう

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施して
ください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換し
て電源を入れ直せば正常に点
灯します。

■ランプ交換について ⚠ 注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

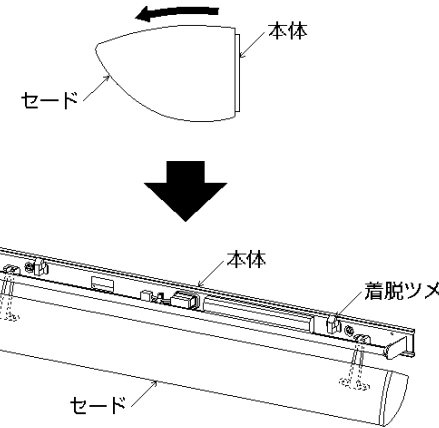
⚠ 警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の
原因になります。

⚠ 注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 セードを外す

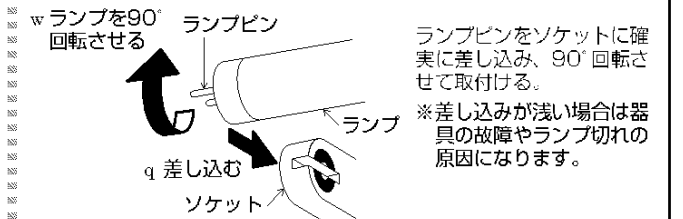
セードを引き下げ、着脱ツメ側を外す。
セードの端を持ちながら片側ずつ引き抜き、本体に
仮吊りされている状態にする。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。



5 セードを取付ける

■取付手順 5 を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。